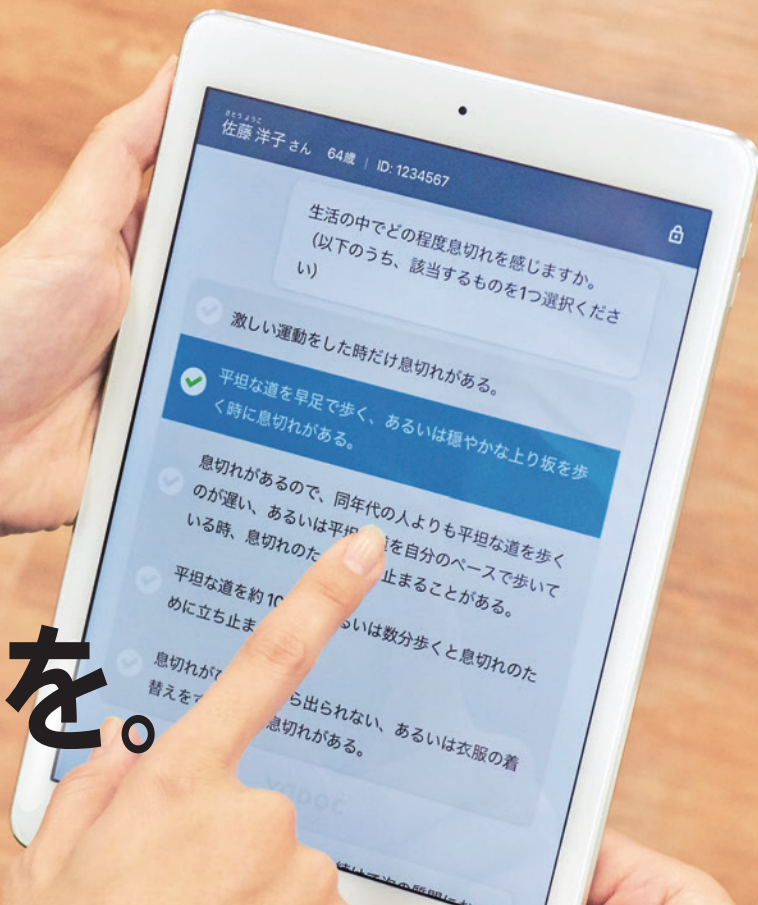


# スマホでも iPadでも、 COPD問診を。



スマートフォンやiPadアプリでCAT™やmMRCの問診が可能。  
患者さんのCOPDの状態を的確に把握できます。

患者さんの状態の経時的な変化を一目で確認



待合室問診 (CAT™)



自宅問診 (mMRC)



医療機関操作画面イメージ

# CAT™ (COPD Assessment Test)

8つの質問項目に回答することで、COPDが患者の日常生活にどのような影響を与えているかを評価します。グラクソ・スミスクライン株式会社が開発したメソドロジーで、日本呼吸器学会のガイドラインなどに広く用いられるなど、世界的に有用性が評価されています。

## mMRC (modified Medical Research Council)

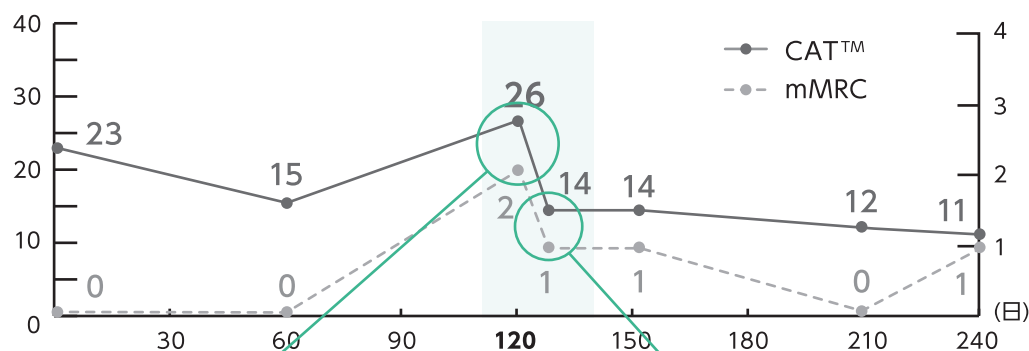
息切れあるいは呼吸困難を評価する指標。GOLD (Global Initiative for Chronic Obstructive Lung Disease) も属する「日本COPD対策推進会議」による「COPD診療のエッセンス」や、日本呼吸器学会の提供する「COPDガイドライン」にも用いられています。

### YaDocを用いたCOPD問診により期待される効果

- 患者と医師とのコミュニケーションを容易にし、COPDが患者の日常生活へ与える影響を評価する手助けに
- 患者が自身の症状を的確に伝えることができる
- 患者のQOL向上を目的とした、適切な治療管理へつなげることができる
- 待合室での問診回答により、時間を有効活用

### COPD患者における事例

来院時、待合室にてタブレット端末でCAT™・mMRCに回答 出所：「第58回日本呼吸器学会学術講演会」、大阪、2018年4月



スコアの急激な悪化が確認されたため、画像検査を実施のうえ、禁煙を指示。



約2週間後

再検診し症状の安定が見られた。その後薬の処方を変更し、経過を観察した。



65歳男性  
工務店勤務

喫煙歴  
30本/日、44年間  
並存疾患なし  
粉塵曝露歴あり  
GOLD Stage II

FVC	3.37 L
FEV1	1.94 L
FEV <sub>1</sub> %	57.6 %
%FEV <sub>1</sub>	67.8 %
PEFR	2.7L/sec
V50/V25	3.2

#### COPD (慢性閉塞性肺疾患)

以前は、慢性気管支炎や肺気腫と呼ばれており、死因の上位にのぼる重大疾患の一つ。主な症状は、息切れや咳、たん。重症化すると自宅での酸素吸入が必要となり、呼吸不全により死に至ることも。有害物質を長年にわたって肺に取り込むことで、肺が炎症を起こすことによるものであり、主な原因の一つが喫煙とされています。現時点では、根本的な治療法はなく、早い段階で病気に気づき、適切な治療を開始することが、健康な生活を送るために必要であり、特に、禁煙はその治療の第一歩です。

### YaDocに関するお問い合わせ

03-6661-0576

(土日祝を除く 10時~17時)

ds@yadoc.jp